

キャンパスライフ詰まっています!!
大教生の声を届けるフリーペーパー



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

DAIKYO PRESS

は
み
だ
せ
心
躍
る
私
!

大教は「教師」だけじゃない!
一般企業・公務員の夢を叶えた
卒業生にインタビュー

Withコロナ時代の新しい大学祭特集

今号の表紙を飾ってくれた
学生モデルにインタビュー!

vol.21

DAIKYO PRESS vol.21
2023年3月発行
大阪教育大学 学生広報

1 職業を選んだ理由・きっかけは何ですか？

将来的にキャリア教育に携わりたいという夢があったからです。様々な人の話を聞いて、学生に向けて企業・働き方などのキャリア教育をできると思ってこの業種に決めました。

2 お仕事のやりがいとは？

現在の部署では、人材教育から集客するために必要なPRや現場での営業まで、総合的な力を身につけられるので、そこがやりがいだと感じます。

3 就活をするうえで大変だなと感じたこと

教員をめざす人が多く実際に就職活動をしている人が少ないため、OB・OG訪問などをほとんど自分の力でしないといけないというのが大変でした。

4 大教での学びが生きていると感じる時は？

指導する時に人に上手く伝えられるようにする力と、ラクロス部に所属していた時の「要因・問題を細分化してそれに対してどう考えるか」を思考する力が、今の仕事にも生きていると感じます。

5 あなたの（常識から）はみだしているなあと感じる事やエピソードを教えてください

楽観的過ぎるところです。仕事で失敗することもあるんですけど、それを次の成功に繋げるための良いものとして捉えるようにしています。

6 これからのビジョンについて

最終的なビジョンとしては、人にどうやってお金を稼ぐことができるかを教育して、その人が最大限の能力を発揮できるような職場を生み出していきたいです。

7 後輩や受験生へのメッセージ

コロナ禍でもどかしい中でも、できないことを悩むのではなくできることを考えて欲しいです。そして、「自分是一つのことに打ち込んで4年間でこういうのができました」と言える経験を培って欲しいです。



人材派遣業 企画・管理 就職

教育協働学科
理数情報専攻
数理情報コース卒

加藤 涼

卒業生に聞く！ 最新版 就職事情!!

大教の進路は教職
今回は大教の多様なキャリアをご紹介するために、
一般企業で働いていらっしゃる先輩方を取材しました。
そして、その一つ
素敵な想いや夢が
だけではありません！
リアをご紹介するために、
しゃる先輩方を取材しました。
一つには先輩方の
詰まっていました。



大阪府内市役所
事務 就職

教育協働学科
グローバル教育専攻
多文化リテラシー
コース卒

中 彩夏



5 あなたの（常識から）はみだしているなあと感じる事やエピソードを教えてください

大学の専攻の中で、自分だけ「立体造形」を取ったことです。大学で何していたの？と聞かれるときに、「彫刻」と答えると珍しがられます。

6 これからのビジョンについて

今の会社の中で、一部分に特化して取り組む今の仕事から、コンサルティングやシステム全体の進行管理などのより幅広い業務もやってみたいですね。将来的には、せっかく大教にいたので簡単なプログラミング教室も開いてみたいです。

7 後輩や受験生へのメッセージ

社会人になってつくづく思うのは、「旅行などの十分な時間が必要なものは大学生の内にやっておけばよかった」ということです。



3 就活をするうえで大変だなと感じたこと

面接がとても苦手でした。あまりテンションが高いタイプではないので、そこをハキハキとしたテンションに持っていくことが苦しかったです。

4 大教での学びが生きていると感じる時は？

内定者の人（後輩）への教育です。単に答えを教えるだけではなく、本人が答えを導き出せるように工夫しています。教育って他業種なので使わないかな？と思っていたんですけど、生かせる場面があったことに驚きました。

情報通信業
プログラマー 就職

教育協働学科
芸術表現専攻 美術表現コース卒

川崎 はるか

1 職業を選んだ理由・きっかけは何ですか？

所属していた音楽系サークル「ペンペン草」の先輩でIT企業に進んでいる人が多かったことです。あと、性格的に営業職よりも、技術職が向いているタイプだった。それに、「ITであれば食いつぶれなかな」と思ったことも理由の一つです。

2 お仕事のやりがいとは？

企業に売るソフトウェアのテストをする仕事なんですけど、自分が作ったプログラムが動いた時や、テスト時のバグを自分で見つけた時にやりがいを感じましたね。



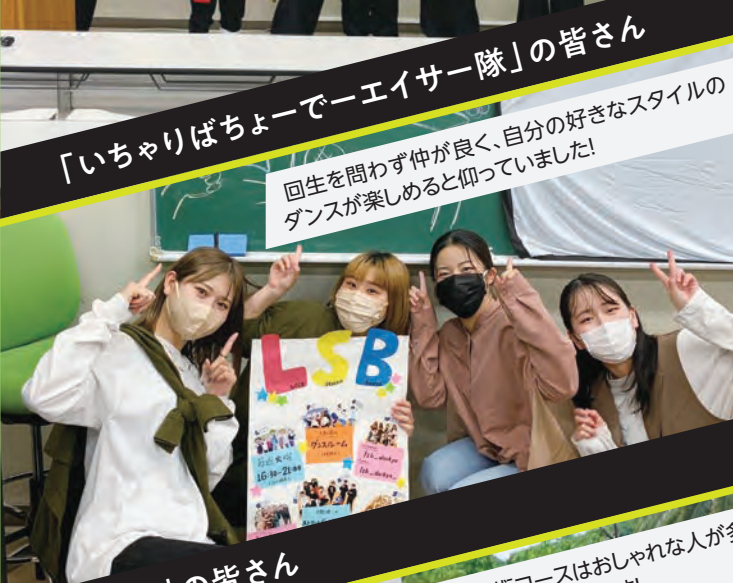
大教 大学祭特集

五月祭 & 神霜祭

コロナ禍を乗り越え、キャンパスでの開催を迎えることができた2022年の大学祭の様子をご紹介します!!



関西唯一のエイサーを踊るサークルで、太鼓体験などができました!



「いちゃりばちょーでエイサー隊」の皆さん
回生を問わず仲が良く、自分の好きなスタイルのダンスが楽しめるって仰っていました!



「L.S.B.」の皆さん

ちなみに美術コースはおしゃれな人が多く、面白い授業も多いそうです!

五月祭ギャラリー



「弓道部」の皆さん

自分の背丈よりも高い弓がかっこいい! 礼儀作法なども学べるのも魅力です!



「幼教・小昼コース」の皆さんによるくだおれアンボール
実際に人に「教える」演習方式の授業があり、教員をめざす人にはもってこいそうです!



「小中・中等数学コース」の皆さんによるストラックアウト



「小中中等美術・書道・音楽コース」の皆さんによるチェキ



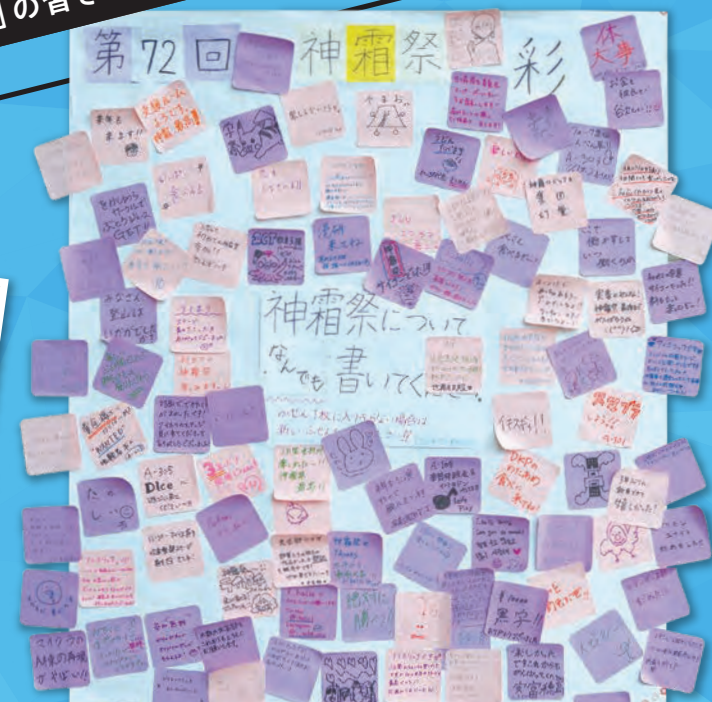
「スマブラサークル」の皆さんによる大会組み手
「飛躍の一年としてサークルを盛り上げたい!」との思いで、楽しませていました!



「第三サッカー部」の皆さんによるたません
迫力のあるダンスで、会場全体が活気のある雰囲気に包まれていました!



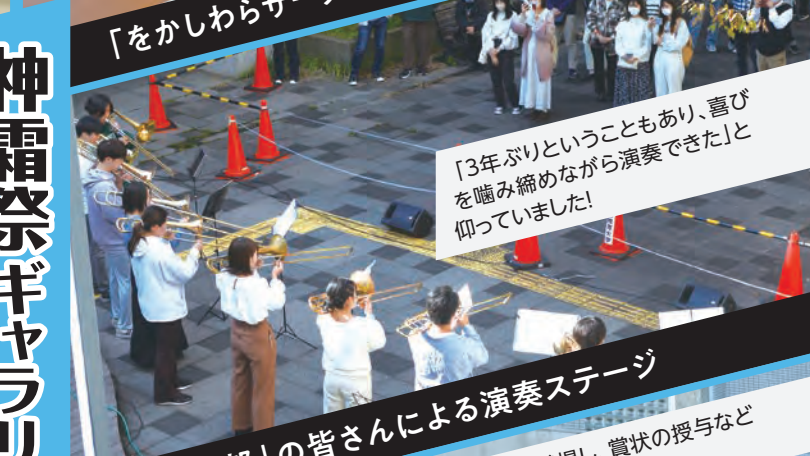
「i_holic」の皆さんによるダンスステージ



神霜祭ギャラリー



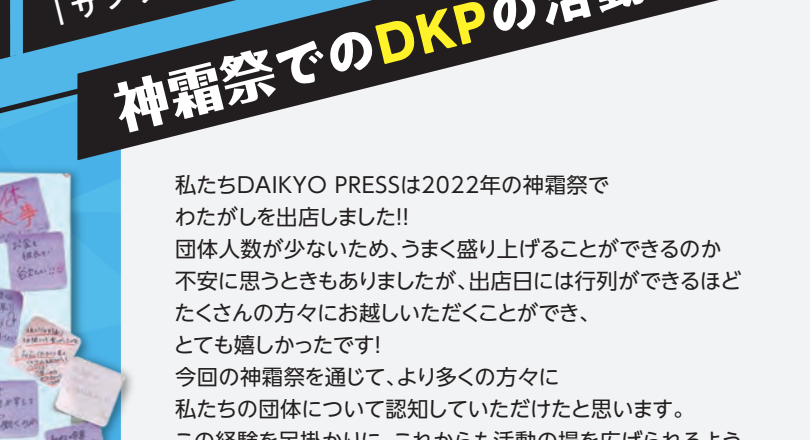
柏原市の名産品のほか、大教猫がデザインされたお菓子も販売されていました!



「をかしわらサークル」の皆さんによるプチマルシェ
「3年ぶりということもあり、喜びを噛み締めながら演奏できた」と仰っていました!



「吹奏楽部」の皆さんによる演奏ステージ
表彰式にゲスト登場し、賞状の授与などを行ってくれました!



「サプライズゲスト:やまお、たまごどり、かしびょん」

神霜祭でのDKPの活動記録

私たちDAIKYO PRESSは2022年の神霜祭でわたがしを出店しました!!
団体人数が少ないため、うまく盛り上げることができるのか不安に思うときもありましたが、出店日には行列ができるほどたくさんの方々にお越しいただくことができ、とても嬉しかったです!
今回の神霜祭を通じて、より多くの方々に私たちの団体について認知していただけたと思います。
この経験を足掛かりに、これからも活動の場を広げられるよう頑張りたいと思います!

また、わたがしの出店と併せて、大学祭実行委員会の本部前に付箋などを用意し、神霜祭に参加された方々で大きな寄せ書きを作るという企画を行いました!!
初日は真っ白だった紙も、最終日には写真のように付箋で埋め尽くされていて、今回の神霜祭にかける皆さんの熱い想いを実感できる寄せ書きが完成しました!
ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました!
DAIKYO PRESS一同

今号の表紙

テーマ「はみだせ!」

DAIKYO PRESS Vol.21

表紙モデル

イ・スミンさん

「はみだせ!」に

込めた想い

「挑戦」

この2文字を聞くと、なんだかとてもハードルが高くて怖いもののような気がします。

いつもと違うことをするわけだし、慣れない環境に身を置くかもしれません。

でも、ほんのちょっとでもいいんです。

「ちょっと早起きしてみる」

「いつもと違う服を着てみる」

「新しく人と交流してみる」

そんな少しの「はみだし」があなたを心躍る自分に変えてくれるはずです。

今回は大阪教育大学の「はみだした」人達取材してきました。

現役の学生から卒業生まで多くの方にご協力いただきこの一冊が完成いたしました。この場を借りてご協力いただいた全ての皆様に御礼申し上げます。

それでは最後までじっくりとお楽しみください。皆さんの「はみだし」を心より応援しております。

DAIKYO PRESS

Q.1 来年度のDAIKYO PRESSのテーマ「はみだせ!」に関連して、これからイさんがはみ出していきたいこと

(※「はみだす」とは、自分の殻を破ったり、限界を超えたりすること)

2つありますね。1つ目は恥ずかしがり屋の自分の性格、2つ目は日本での生活を楽しみながら自分の夢探しを頑張っていくことです。私は昔から結構恥ずかしがり屋で、授業中に手を挙げて発表したりする時、勇気がなくてできないことが結構多かったんです。でも日本に来てからは、韓国に帰って後悔したくない!という想いで、積極的に授業やサークルにも参加しています。また、夢探しについては、韓国で日本語、メディア、教育について学び、いろいろ勉強してきたことを生かして日本でどんな仕事をしたらいいかなど毎日考えています。これからバイト先を探すのも就職先を探すのも履歴書を書いたり面接を受けたり、かなり勇気が必要なのが多いかと思いますが、頑張っていきたいです。

Q.2 撮影を終えての感想

とてもとても楽しかったです!撮影風景を通りすがりの学生も見えていたと思いますが、「あれなんだろう、楽しそう!」と思わせたんじゃないかなと思います(笑)。こんな楽しい経験をすることができてとても幸せです。勇気を出して応募してよかったと思っています!ありがとうございました。

Q.3 DAIKYO PRESS vol.21発刊に向けたコメント

DAIKYO PRESSは大教大について詳しく知れるとっても良い冊子だと思います。より多くの学生に届き、愛されるフリーペーパーになってほしいですね。

新スタッフ 大・大募集中! 一大教の「おもしろい」を見つけようー

DAIKYO PRESSは大阪教育大学公認の学生広報団体です。

入部希望の方は…

DAIKYO PRESSのSNS⇒

Twitter



Instagram



もしくは、
大学広報室まで⇒
大学Webページ
[DAIKYO PRESSについて]

